

# 相模原商工会議所 景気観測調査結果

(令和4年10月～12月)

**円安が一層進み、全産業に渡り影響が深刻化している。景況の回復が遅れていた小売業・卸売業と建設業が回復基調にあり、業種間の景況の差は縮まってきている。**

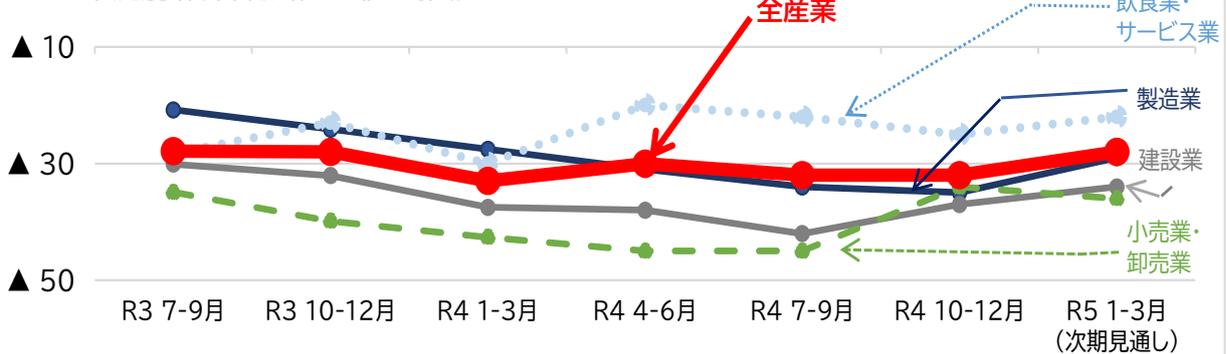
## ポイント

- ▶ 令和4年10月～12月期の総合業況DIは▲32と、前期▲32から不変であった。小売業・卸売業(前期▲45・今期▲34)は、前期までの非常に厳しい状況下からようやく回復に向かっている。建設業(前期▲42・今期▲37)も若干の改善が見られた。製造業(前期▲34・今期▲35)は前期とほぼ変わらず。飲食業・サービス業(前期▲22・今期▲25)が前期に引き続き若干の悪化であった。
- ▶ コメントによると、円安による仕入れや資材の高騰、電気料金や燃料費の値上がりの影響は全産業に渡り深刻化しているようである。また、一部の業種では、コロナの影響が落ち着いた後でも、消費者の行動パターンが変化してしまい、元に戻らないという声が上がっている。
- ▶ 次期見通しについては、総合業況DIは▲28と、今期▲32から4ポイントの改善の見込み。製造業(今期▲35・次期▲29)は改善の予想である。飲食業・サービス業(今期▲25・次期▲22)と建設業(今期▲37・次期▲34)も若干の増加の見込み。小売業・卸売業(今期▲34・次期▲36)はほぼ変わらない予想である。

## 各業界から寄せられたコメント

- ・【精密板金の製造業】半導体業界の動向に左右されるため、ここに来て踊り場状況。材料費などの上昇が続き、電気料金も圧迫要因。
- ・【土木、建築工事請負事業・不動産事業】政府投資は微増。民間投資は、企業の設備投資意欲の回復等により、コロナ禍で需要が拡大した倉庫・物流施設だけでなく、工場においても投資が堅調に推移。一方で、資機材価格が引き続き上昇。
- ・【オーダーカーテン、カーペット、インテリア小物】サンキューキャンペーン、かながわ Pay はありがたいキャンペーンだった。カード決済やQR決済は、手数料がかかり、入金が遅い為、資金繰りが大変でした。
- ・【葬儀】コロナ禍から、小規模化、簡素化の流れは止まらず顧客の販売単価の減少は避けられない。

業況別(総合判断) DI値の推移



	前年同期概要 (R3.10-12)	前々期概況 (R4.4-6)	前期概況 (R4.7-9)	今期概況 (R4.10-12)	次期見通し (R5.1-3)
製 造 業	▲24	▲31	▲34	▲35	▲29
建 設 業	▲32	▲38	▲42	▲37	▲34
小 卸 売 業	▲40	▲45	▲45	▲34	▲36
飲 食 業 サ ー ビ ス 業	▲23	▲20	▲22	▲25	▲22
全 業 種 ( 総 合 )	▲28	▲30	▲32	▲32	▲28

業況天気図凡例

快晴 DI値 ▲以上	晴れ DI値 30~11	薄曇り DI値 10~▲10	小雨 DI値 ▲11~▲30	雨 DI値 ▲31以下
---------------	-----------------	-------------------	-------------------	----------------

調査期間:令和4年10月1日~12月31日

回答率:26.6%

回答者数:1,003件

調査対象:当所会員事業所3,773事業所

### <<景気観測調査>>

前年度同時期との景況を比較し、「良い/悪い」などの指標を数値化し景気動向を調査。「良い」の回答数の割合から「悪い」の回答数の割合を引いて算出した数値(DI値)を用いる。